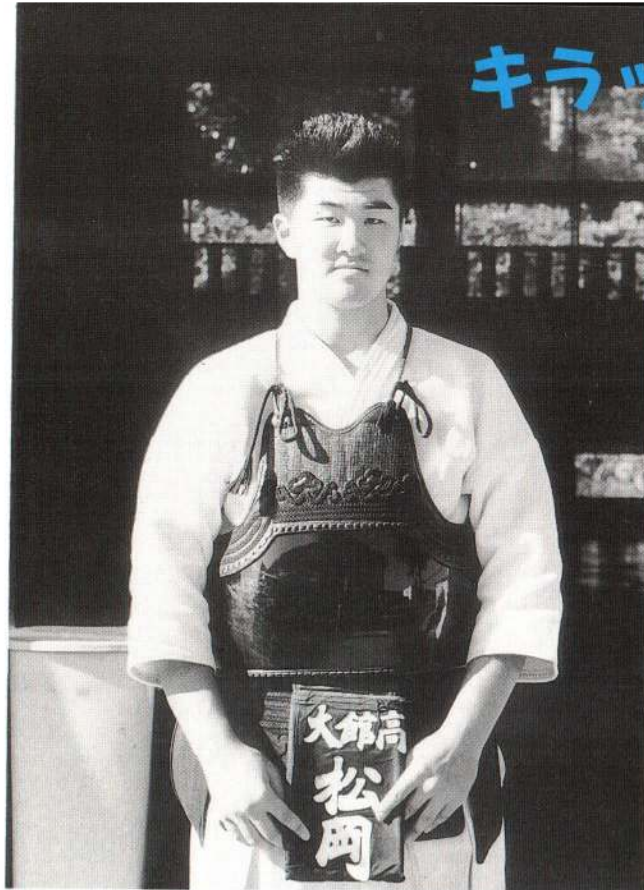


キラットさん



大館高校 3年 松岡 寛之さん

今回のキラットさんは、六月に行われた剣道の全県総体で見事個人優勝を果たした松岡さんです。全県総体で個人優勝したという前情報から、相当活発で強そうなたをイメージしていましたが、当の本人は体格こそ身長一八〇センチと大柄なものの、性格はやさしく、控えめなところも見せていました。本人の言う「明るい性格」は、少し緊張していたためか表には出なかったけれども、しっかりと頼りがいのある主将といった趣でした。

松岡さんが剣道を始めたのは幼稚園から。お兄さんと一緒に市民体育館に隣接する武道館に通っていたそうです。途中、小学校三年

生から六年生までブランクはありましたが、今まで当たり前のよう練習を続けてきたそうです。競技での実績があるとはいえ、剣道はすべてが難しく、やめたいと思うことはしょっちゅうです。それでも自分自身と戦うことで精神が鍛えられるところに大きな魅力を感じてます。自分を極限の状態に置くことで、一步一步着実に力をつけてきたのでしょう。

松岡さんは、試合ではどんなときでも「まず一回戦突破」を目標に望んでいるそうです。静かな攻めが得意で、相手が積極的に攻撃してくるのをうまく交わして一本取るのを勝ちパターンにしているとのこと。そのため、自分と同じ戦い方をする選手が苦手だと話してくれました。

現在は愛媛県で八月六日から始まるインターハイと、八月二十九日に岩手県で開かれるミニ国体に向けて練習中とのこと。来年は、体育大学に進学し、将来は消防士になりたいと話していました。

インタビュアと、剣道部顧問の前田先生にお話を伺いましたが、レベルの高い中央地区では、ライバルが大勢いる中で、いい刺激を受け互いに鍛えられるけれども、そうでないところで勝てたというのを高く評価していました。インターハイはもちろんミニ国体でも勝ち進んで、国体出場を果たせるよう頑張ってください。

私の本棚

中央図書館新着図書

『オリンピアナチスの森で』

沢木 耕太郎 著

集英社



一九三六年夏、ヒトラーの威信をかけて開催されたベルリンオリンピック。その「民族の祭典」の真実の姿とは。記録映画「オリンピア」の監督レニ・リーフェンシュタールをはじめ、日本人選手などの証言から探求する。

一般書

- ◇奇貨居くべし火雲篇（宮城谷昌光）◇凍りついた香り（小川洋子）
- ◇寵妃ロクセラナ（澁澤幸子）◇いつのまにか私も「婆あ」（門野晴子）◇風のように・別れた理由（渡辺淳一）◇助教授ルリ子の恋（谷村志穂）◇それぞれの断崖（小杉建治）◇三本の矢上・下（榊東行）◇生きるとはすごいこと（安野光雅ほか）◇子規のココア・漱石のカステラ（坪内稔典）◇はみ出し銀行マンのビックバン日記（横田濱夫）◇あの季この季（岸田今日子）◇嫁洗池（菅原すなお）◇「生きる」という贅沢（淀川長治）◇薬天少女通ります（田辺聖子）◇流沙の塔上・下（船戸与一）◇男もの女もの（丸屋才一）◇少年のオキテ（原田宗典）◇陽だまりの午後（藤堂志津子）◇葡萄酒語（林真理子）◇恋する家族（三田誠広）◇引金の履歴（乃南アサ）◇道頓堀の雨に別れて以来なり上・下（田辺聖子）◇いつでも猫がそばにいる（来生えつこ）◇老親の看かた、私の老い方（宮子あずさ）◇無言の名誉上・下（ダニエル・ステイール）◇メリーゴラウンド（ロザムンド・ピルチャー）◇ブラックメール（スーザン・フォワード）ほか

児童書

- ◇パッテリー（3）（あさのあつこ）◇ドカンとイッパチ（那須正幹）◇まじよこと7にんのちっちゃおばけ（藤真知子）◇トリケラトプスの大決戦（黒川みつひろ）◇落語絵本じゅげむ（川端誠）◇ミツビシトンボ（江口学）◇クマの子太郎（今関信子）◇もうおねしょしないもん（マリベス・ボルツ）◇車いすからこんにち（嶋田泰子）ほか
- 8月のテーマ関連図書コーナー・・・『親子で出かけよう』
- 8月の親子読み聞かせ会・・・7日（毎月第一金曜日）14時30分から
- 8月の中央図書館の休館日・・・16日、27日